



ISNA日本スヌーズレン-MSE®研究・資格認定協会
理事長 姉崎弘

入会案内

年会費は以下の通りです。

- (1) 学生会員 2,000円
- (2) 個人会員 4,000円
- (3) 賛助会員30,000円

を、以下の口座にお振込み下さい。

※賛助会員の皆様は、スヌーズレン研修会に年間4名または4回まで無料でご参加いただけます。

お振込口座 西日本シティ銀行

種別：普通 店番号：245 口座番号：3174208

口座名：ISNA日本スヌーズレン-MSE研究・資格認定協会

ご入会いただくと、研修会の参加費割引や、出版書籍の特価購入、これまでの機関誌の閲覧・印刷、機関誌への論文投稿（実践報告・研究・研究論文）が可能になります。資格認定セミナーの参加が可能です。さらに、海外のスヌーズレンの施設や学校への視察旅行のご案内を差し上げます。



2026年度の主な計画

◎第4回スヌーズレン研修会の開催

5月30日(土) 13時から16時30分

会場：黒崎コムシティ301室

◎第1回スヌーズレン資格認定セミナーの開催

6月20日(土)及び21日(日)

会場：九州女子大学教室

◎第2回スヌーズレン資格認定セミナーの開催

11月14日(土)及び15日(日)

会場：仙台西多賀病院

※資格セミナーは研修会2回以上参加が条件です。

◎機関誌論文投稿×切：9月11日 2027年3月発行予定

研修会参加費 4,000円 (会員3,000円)

資格認定セミナー参加費 30,000円 (ただし、研修会に2回以上参加のこと)

その他 9月以降、アーカイブ配信を予定しており、全国各地で研修会等に参加が可能です。詳細は後日お知らせいたします。

年会費 学生会員2,000円 個人会員4,000円 賛助会員30,000円

特典 賛助会員様(企業や団体)は、研修会に年間4名まで無料で参加できます。会員になると、特典として、①研修会参加費の割引、②機関誌の送付、③これまでの機関誌論文の閲覧・印刷ができ、④機関誌(年間1回発行)に論文投稿ができ、⑤研修会等で実践・研究発表ができ、⑥スヌーズレン書籍の特価購入、⑦海外のスヌーズレン施設・学校の視察ツアーに参加等ができます。

当協会の会員を募集しています。

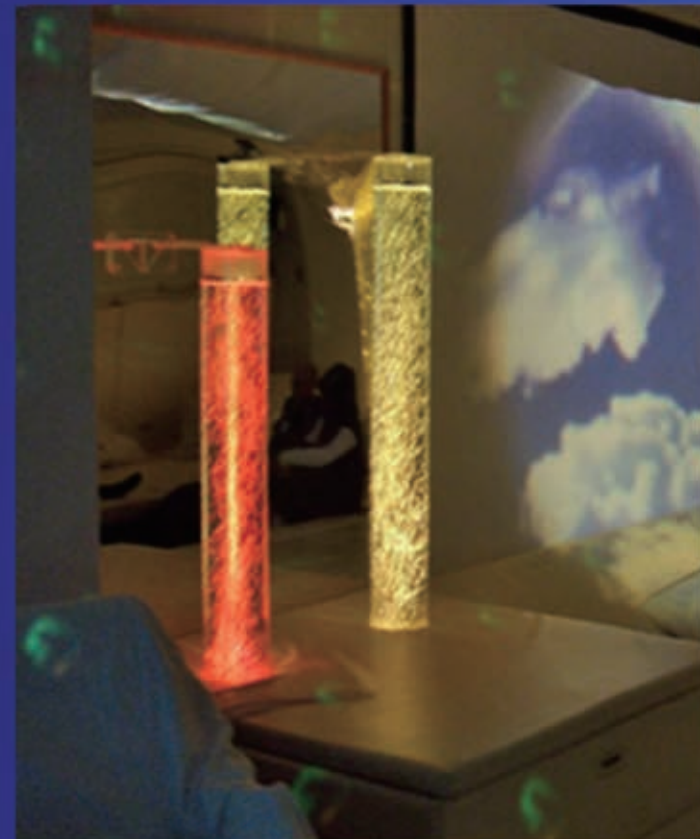


当協会の
ホームページ

2025年5月に、福岡県でスヌーズレンの国際的な団体が誕生しました。これまで九州に拠点を置くスヌーズレンの協会や研究会はありませんでした。私たちのこの団体が九州におけるスヌーズレン活動の先駆者的な役割を担います。ここ九州から日本全国及び世界に向けてスヌーズレンの情報発信を行って、スヌーズレンの専門性をもつ人々を少しずつ養成していきます。

ISNA日本 スヌーズレン- MSE®研究・資格 認定協会

写真：ドイツ・フンボルト大学のスヌーズレンルーム (2008年当時)



[事務局] 〒807-8586 福岡県北九州市八幡西区自由ヶ丘1-1
九州女子大学・人間科学部・児童幼児教育学科
姉崎 弘 研究室内
E-mail : isna.snoezelen.japan.rqa@gmail.com



ISNA日本スヌーズレン-MSE®研究・資格認定協会 誕生の経緯

【経緯】

私たちは、2002年にドイツのフンボルト大学において、創始者のVerheul,Aとフンボルト大学リハビリテーション学部教授のMertens,K. 博士が共同で設立したISNA(International Snoezelen Association)に設立のルーツを持ちます。今日は、ISNAから2012年にISNA-mse（本部：デンマーク）に継承発展しています。私たちは、これまで姉崎が設立した、前身のISNA日本スヌーズレン総合研究所の諸活動を前会長から継承し、さらに発展させたのが本協会で、名称を一部変更して、将来の法人化を視野に「ISNA日本スヌーズレン-MSE®研究・資格認定協会」を設立しました。この協会はISNAドイツに本部があります。

姉崎は、2003年以降、度々創始者のいるオランダのハルテンベルグセンター施設やスヌーズレン研究の第一人者Mertens博士のいるドイツのフンボルト大学に留学し客員研究員としてスヌーズレンの研究を深め、スヌーズレン実践や研究の世界の著名な人物と交流し、さらにヨーロッパの多数のスヌーズレン施設の視察を行いました。そしてこれまで日本特殊教育学会等でスヌーズレンの研究発表や自主シンポジウムを多数行い、全国でスヌーズレン講演会等を多数開催してきました。2000年代の日本には、これまで日本スヌーズレン協会はありましたが、スヌーズレンを研究する団体がなかったこと、さらにスヌーズレン創始者たちの書籍やMertens,K. 博士の書籍の翻訳書も出版されておらず、スヌーズレンを正しく理解して広められていないことが問題となっていました。そこで、姉崎は、2009年にMertens,K博士の書籍、姉崎弘監訳『スヌーズレンの基礎理論と実際一心を癒す多重感覚環境の世界』(大学教育出版)を翻訳出版し、次いで2015年に創始者たちHulsegge,J.&Verheul,A.の書籍、姉崎弘監訳『重度知的障がい者のこちよい時間と空間を創るスヌーズレンの世界』(福村出版)の書籍をそれぞれ翻訳出版しました。今日でもこれらの翻訳書の書籍が日本でスヌーズレンを学ぶ上での基本や出発点になっています。

そこで2009年に全日本スヌーズレン研究会を、2015年にISNA日本スヌーズレン総合研究所を設立しました。そして2004年にMertens,K博士がドイツでの国際スヌーズレン会議の席上で、世界に向けて初めてスヌーズレンの専門資格の必要性を訴えられましたが、当時この資格の必要性を理解して賛同する人はいませんでした(姉崎がこの会議に参加していました)。日本では姉崎が、Mertens,K博士を5回来日を実現させ、講演会やシンポジウムを開催し、さらに大変な苦労を経て2013年と2014年に計12日間のスヌーズレンの資格認定セミナーの開催を実現させ、Mertens,K博士から受講者にスヌーズレンの国際的資格が授与されました。また、姉崎は今日「国際スヌーズレン専門支援士スーパーバイザー(2025年)」も取得しています。

【当協会の使命と役割】

私たちの使命と役割は、まずスヌーズレンの研究を継続発展させ、主に①スヌーズレンの実践報告や実践研究、学術研究を本協会の機関誌「スヌーズレン教育・療育・福祉研究」誌を通じて、国内外に発表し、スヌーズレンの実践と研究をさらに推進させ、社会の理解啓発を図っていくこと、さらにスヌーズレンに理解のある専門家を養成していくために、②スヌーズレン資格認定セミナーを開催し「国際スヌーズレン支援士(2日間)」を授与すること、③そのための準備としてまずスヌーズレンの基礎知識を習得するためのスヌーズレン研修会を開催すること、の2点にあります。他にも、学会等でのスヌーズレンシンポジウムの開催や各個人による学会や研究会等での研究発表を継続して奨励していきます。

(文責：ISNA日本スヌーズレン-MSE研究・資格認定協会理事長 姉崎弘)



スヌーズレンは「クンクン匂いを嗅ぐ」と「居眠りする」の2つのオランダ語から派生しています。その概念は、オランダの重度知的障がい者入所施設で1970年代に開発されました。意図的に設定された部屋で、本人の好む光や音、香り等の多重感覚刺激を用いて感覚的に魅了的な世界へと導きます。主にリラックス効果と活性的効果の両方が知られています。今日、世界で人々に幸福感を導き、レジャーだけではなく、セラピーや教育・療育活動等として、障がい者や心理的に不安定な健常者にも幅広く活用されています。

